

里地里山の生き物紹介

農村環境にすむ生き物を重視した農業の推進が重要なテーマとなっていますが、身近な里地里山の生き物はあまり知られていません。そこで、里地里山（農村環境）とそこにすむ生き物との関係や、作物生産以外の農業の価値について理解を深めてもらうため、「里地里山の生き物紹介」を作成しました。

【「里地里山の生き物紹介」とは？】

「里地里山の生き物紹介」は、県内の里地里山で確認した生き物のうち、農村環境と関係が深い生き物として、スマレ・トンボ・チョウを取り上げ（図1）、画像を交え、よく見られる場所や見分けるためのポイントを解説した学習用プレゼンテーションです。

スライド内容一覧

タイトル	スライド時間	内 容
里地里山のスマレ	約8分	人家や田畑5種 / 山地8種 / 明るい林のそば17種 等 計36種 ニョイスミレ・ナガハシスミレ・オオバキスミレなど
里山のトンボ	約6分	田んぼ3種 / ため池5種 / 水路3種 計11種 アキアカネ・チョウトンボ・ミヤマアカネ・ハグロトンボなど
里山のチョウ	約5分	里のチョウ5種 / 山や畑のチョウ5種 計10種 ベニシジミ・ナミアゲハ・キアゲハ・モンキチョウなど

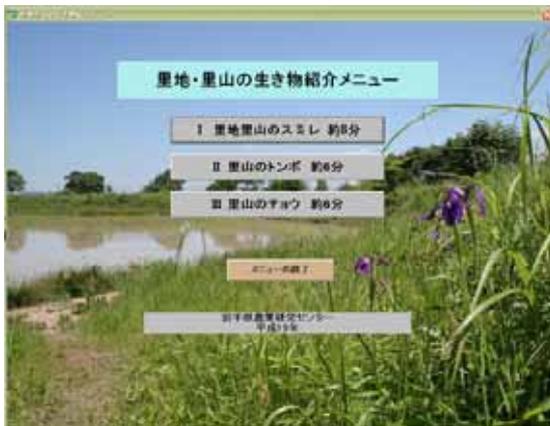


図1 メニュー画面

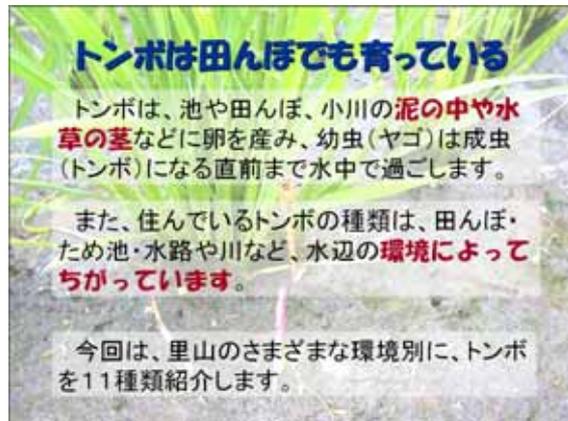


図2 「里山のトンボ」より



図3 「里山のトンボ」より田んぼのトンボ

【留意事項】

(1) 「里地里山の生き物紹介」は県立農業科学博物館で公開しています。

また、希望者には岩手県農業研究センター「試験研究成果に由来するプログラム取り扱い要領」に則って無償でファイルを配布します。

(2) 本成果は、それぞれの地域で「生き物紹介」等を作成する場合の参考になりますが、作成にあたっては、画像および音楽の著作権等に留意してください。